



受 令和 7 年 12 月 5 日
付 午前・午後 : 受信

一般質問通告書

笠置町議会議長 西 昭夫 様
次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 由本 好史

質問事項	具体的な内容	答弁者
クマ対策について	<p>全国でツキノワグマによる被害が問題となっている中、従来はクマが生息していないはずの「空白地域」とされてきた山城地域でもクマの目撃が相次いでおり生息圏の拡大が懸念されております。</p> <p>環境省は、中期的対策として、公務員が狩猟免許を持って猟を行う「ガバメントハンター」の育成や、ドローンなどの新技術を使った出没防止対策の強化策を盛り込む方向で調整していると報道され、高市首相は、駆除にあたる猟友会への委託費など、「自治体が必要とする経費への支援を拡充するということですが、笠置町として、どのような対策を講じられるのかお聞かせください。</p>	
重点支援地域交付金について	<p>政府が策定する経済対策によると、自治体が自由に使える「重点支援地方交付金」を拡充し、地域で利用できるプレミアム商品券やマイナポイントの発行を支援するとのことで、食品の物価高騰対策として特別枠も設け、「おこめ券」やプレミアム商品券の発行で 1 人あたり 3, 000 円程度を支援するということが、実際に行う事業は自治体が決めるということです。そこで笠置町としてどのような事業に使われるのかお聞かせください。</p>	
J R 関西線について	<p>J R 西日本は 10 月 29 日に、利用者が少ない地方路線の 2022~24 年度平均が公表され、関西線加茂~亀山間 (61 キロ) では平均収支率は 11. 3%で、輸送密度は、19 年度は 1, 090 人から 24 年度は 978 人と減少しており、地方公共交通活性化再生法は、輸送密度千人未満の区間を「早急な改善が求められる」とされており、関西線沿いの府内自治体は協議会をつくり、持続性の高い地域交通体系を議論していると思いますがどのような議論をされているのかお聞かせください。</p>	
笠置町のまちづくりについて	<p>10 月 23 日同志社大学の学生が笠置町のまちづくりについて、提案する報告会が町役場で開かれたと報道されました。報道によりますと、まちの課題解決のひとつとして、近隣地域の子どもたちが遠足で町内を巡るプランを挙げたということですが、どのような提案があり、その提案を受けどのように取り組んでいられるのかお聞かせください。</p>	
笠置町の四季の催し物について	<p>笠置町の四季の催し物について、昨年 12 月定例会で笠置町の四季の催し物についての効果的な運用を求める決議が可決されましたが、令和 7 年度鍋フェスタ等、これといった催し物が開催されません、町内外からも鍋フェスタはどうなのかといった声が聞かれますが催し物について説明を求めたいと思います。</p>	
発言時間	分	

※ 簡明に記入すること。



受	令和7年12月1
付	午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議長 西 昭夫 様
次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 向 出 健

質問事項	具 体 的 な 内 容	答 弁 者
1、重点支援地方交付金について	【質問趣旨】 物価高騰対策について、現金給付など、より有効な対策を求めます。	
	(質問1) 水道基本料金の免除の実施の考えはありませんか。	
	(質問2) 現金給付の考えはありませんか。	
2、ごみ処理広域化について	【質問趣旨】 ごみ処理広域化について、住民への丁寧な情報提供や説明を求めます。 また、自治体が直接責任を持ち、自治体や議会の関与ができるしくみと、産廃の持ち込みや焼却ごみの持ち込みなどで必要以上の焼却場規模とならないように求めます。	
	(質問1) 住民が理解できるような内容の説明を、メリットやデメリットがわかるように住民が判断できるように実施して下さい。	
	(質問2) 産廃の持ち込みや4自治体以外のごみの持ち込みはしないように求めますが、どのように考えていますか。	
	(質問3) 広域化を進めるにしても、自治体や議会が関与できるしくみ、組合設立による公設公営以外は選択しなようにと思いますが、どのように考えていますか。	
	(質問4) リサイクル化や資源化、堆肥化等、焼却ごみ減量化については、どのように考えていますか。	
3、オンデマンドタクシーについて	【質問趣旨】 笠置町(村)の現状も加味して、現在の料金の見直し、引き下げを求めます。また、より使い勝手のいいものに改善できようように検討を求めます。	
	(質問1) 社会参加の促進や生活支援という福祉的観点から、村とも相談して、現在の料金の引き下げを検討するように求めますが、どうお考えですか。	
	(質問2) 加茂駅又は周辺までの往復を実現できるように、今後、取り組む考えはありますか。	
発言時間	分	

※ 簡明に記入すること。



受付	令和7年12月10日	受領
	午前・午後	:

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議長 西 昭夫 様
 次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 西 朋子

質問事項	具体的な内容	答弁者
相楽東部広域連携モビリティ実証運行について	<ol style="list-style-type: none"> この事業はどういった事業なのか、またその内容もお聞かせください。 車の待機場所については駅に必要と考えますが、それ以外にも西部区や東部区にあればより便利だと思っておりますので、色々な場所で試して欲しいと思っております。検討してもらえますか。 町外の方の利用は考えていますか。 実証運行が開始されてからまだ間もないですが、何か問い合わせはありましたか。 今後、令和8年3月に配布予定のタブレットでも予約ができるように考えていますか。 	
タブレットの運用について	<ol style="list-style-type: none"> 令和8年3月に全戸に配布予定ですが、タブレットを使用するにはWi-Fiやモバイル回線などが必要です。各家庭でタブレットを使用できる環境は整っていますか。 以前にタブレットの利用促進や、疑問点・懸念点を事前に解消し、運用後等のトラブル防止に繋げる為、事前に基本操作などの説明会を開催されましたが、参加は住民の約2割程度という少人数の参加でした。この結果はタブレットへの関心の低さなのかPR不足だったのか、何が原因だと考えていますか。またこの結果の対応として、住民参加のイベントや住民が参加する健康診断などの事業にも出向いて説明したいとありましたが、その結果はどうですか。 これからはもっとデジタルが進む世の中になることは確実ですが、当町は高齢者が多いことから何でもデジタル化という訳にはいかないと思います。タブレットの使い方が分からないといった事で放置されてしまったりは情報が伝わらないといった事にもなります。住民が出向く説明会以外の対応は何を考えていますか。そして、例えばですが80代などの高齢者世帯や独居老人の方に対してどう対応されますか。 説明会の際、様々な意見があったと思いますが、使い方についての意見はどの様な内容でしたか、またその意見についてどう対応されますか。 配布台数は一世帯に一台と伺っていますが、例えば世帯分離をされているご家庭では二台になるのでしょうか。また一台以上を希望された場合はどうなりますか。 配布するにあたり、直前にさらに操作方法の説明を受けれるとか、各戸に操作方法の説明をし配布するとか、指定された場所に各自取りに行くのかなど配布方法と配布間近のスケジュールはどの様に考えていますか。 今後の運用経費についてですが、伊根町では令和7年の運用経費が1160万円で通信費が670万円計上されています。笠置町では今後の財源はどうするのですか。 	
発言時間	分	

※ 簡明に記入すること。

受 付	令和7年12月10日
	午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議員 西 昭夫 様
次のとおり一般質問を行うことを通告します。

笠置町議会議員 西 朋子

質問事項	具体的内容	答弁者
ドローンについて	1、近年ドローンは、著しく進化しており、その活用方法についても注目されています。現在の防災を考えていく上では有効な手段の一つであり、自然トラブルや災害時の情報収集において重要な役割を果たします。笠置町ではドローンを活用した取り組みの検討はありますか。	
伊賀市、名張市、笠置町及び南山城村ごみ処理広域化基本構想と検討協議会について	1、この取り組みでは、本年10月に基本構想中間案が制作され、先月25日を期限としてパブリックコメントの募集をされました。何件の受付がありましたか。 2、そのような住民の意見を募集したうえで4市町村による広域化の検討について現状はどうなっていますか。 3、基本構想中間案では、事業方式を組合設立と民間活用について検討対象としている。と記載がありましたが、その後4市町村間でこの事業方式について何か決定したのでしょうか。 4、住民生活に直接関係すること・関心事としては、この広域化を実現するにあたって、笠置町の負担額がどのくらいになるのか、施設建設予定地はどこになるのか、そして、ごみの分別や収集方法・収集回数が変わるのかといった事が考えられますが、現時点で決定したものがあるのでしょうか。 5、この協議会の名称にも「検討」という文言が含まれています、町として最終的にどの様な判断の元、ごみ処理に広域化を進められるのでしょうか。	
発言時間 分		

※ 簡明に記入すること。



受	令和7年11月27日
付	午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議長 西 昭 夫 様
 次のとおり一般質問を行うことを通告します。
 笠置町議会議員 松本 俊清

質問事項	具体的な内容	答弁者
1 4月に新設された希望のまち推進課の事業について	人口の減少は笠置町の存続にもかかわる大きな問題です。少子化対策や関係人口の増加を目指すにも、魅力のある笠置町にしなければなりません。4月に新設された希望のまち推進課が進める各事業についてお伺いします。	
	① 産業や特産品の開発はどうなっているのか。	
	② この指とまれプロジェクト事業の進捗は。	
	③ 地域活性化起業人から提案された事業等の内容と進捗の報告を求める。	
	④ 河川のオープン化はいつか。	
	⑤ いこいの館の再開について、令和8年に再開予定とのことであったが、できるのか。施設や設備の改修等に係る経費の見積もりはいくらか。資金調達方法は。再開後の営業内容は。これらについて株式会社「一」は現在どこまで事業を進めているのか。	
	⑥ 笠置町は観光が産業のメインです。桜やもみじ、笠置山、東海自然歩道、温泉、キャンプ場、カヌー、ボルダリング、ノルディックなど、数多くの観光資源がありますが、近年はそれらがうまく活用されていないのではないか。桜やもみじの植樹、登山道等の補修などの提案も過去にしてきたが、改善されずにいる。観光の町としてこれら観光産業に取り組む今後の手段を問う。	
2 町所有の建築物について	① サテライトオフィス、児童館、町営住宅、中央公民館、お試し住宅、古民家（2軒）について、現在の状況と今後の対策を個々に説明を求める。	
3 耕作放棄地対策について	① 農業従事者の高齢化や後継者の不足により、今後も耕作放棄地の増加が予想されます。耕作放棄地の増加は住環境の悪化をも招きますが、これまでの経過と対策を問う。また、その対策を進めていくために解決すべき問題点は何か。	
4 健康対策について	① 健康寿命を延ばす事業として5月15日に「てれさんぼ」が報道されたが、町民の活用はどうか。アンケート等で利用者の意見は聴取したのか。その結果は。また現在「てれさんぼ」は笠置会館に設置しているが、町民の健康促進のため、もっとPRをし、循環バス等で利用者を集客してはどうか。	
発言時間	分	

※ 詳細に記入すること



受	令和7年12月10日
付	午前・午後 : 受領

一 般 質 問 通 告 書

笠置町議会議長 西 昭夫 様
 次のとおり一般質問を行なうことを通告します。

笠置町議会議員 山本 麻也

質問事項	具体的な内容	答弁者
1. 事業系一般廃棄物の処理に係る町の負担について	笠置町内にもいくつかの事業者がおられ、事業活動に伴い発生したゴミは事業系一般廃棄物として処理をされています。	町長
	事業者も処理に要する費用の一部を手数料として負担されていますが、残りの費用については分担金として町が支出しており、非常に大きな負担となっています。	
	この問題について、何らかの対策をお考えでしょうか。	
2. 笠置キャンプ場の管理運営について	令和7年7月からキャンプ場の管理者が変わりましたが、引き続き多くの利用者で賑わっています。	町長
	今年は台風などによる大雨も少なく、キャンプ場が冠水することもなかったようですが、今後、災害などにより施設の復旧が必要となった場合、その費用負担については管理者との契約でどのように定めているのでしょうか。	
3. 通学路の安全対策について	先日、笠置町において、教育関係者、道路管理者、交通安全管理者で通学路の合同点検が行われました。取組方針として、危険箇所の点検とその対策案の検討を行うとあります。その結果報告、対策案の検討内容はどのようなものでありましたか。	町長
発言時間	分	

※ 簡明に記入すること。